

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	日常生活援助論Ⅲ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	前期	教室名	1年生教室・実習室
担 当 教 員	中原眞理子 田中祥子	実務経験と その関連資格	医療施設にて看護師として勤務していた。			
《授業科目における学習内容》						
日常生活援助論Ⅱでは、身体の清潔の援助を取り上げ、人間にとって清潔・衣生活の意義について学ぶ。演習の事例は、主に臥床患者を想定し、清潔援助・寝衣交換を安全・安楽に実施する方法を学ぶ。また、個別性に配慮しながら援助を組み立てていく看護の観点を養う。演習では患者と看護師の役割を体験し、患者としての体験を自身の看護技術の向上に生かしていく。授業は、講義と演習を関連付けて行う。						
《成績評価の方法と基準》						
課題提出状況(40%)筆記試験(60%) 授業態度については減点方式とする。 清拭技術チェックが合格していることが単位認定の条件です。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
系統看護学講座 専門分野 基礎看護学[3]基礎看護技術Ⅱ(医学書院) 根拠と事故防止からみた基礎・臨床 看護技術 第3版(医学書院)						
《授業外における学習方法》						
授業を理解するために予習・復習を通して、自主的に調べ学習を行いましょう。						
《履修に当たっての留意点》						
羞恥心を伴う援助もあります。手順だけでなくプライバシーの保護、快適な環境に留意して、患者さんにとって、気持ちよいケアが実施できるように練習を重ねましょう。 ※シラパスの内容・講義順序等は変更になる可能性がありますのでご了承下さい。						
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第1回	講義 授業を通じての到達目標	人間にとって清潔の意義と清潔の援助方法と根拠について述べることができる。			教科書 資料 パソコン プロジェクター スクリーン スピーカー	該当部分の教科書を読む 授業の復習をする
	各コマにおける授業予定	清潔援助【入浴、清拭、洗髪、部分浴、陰部洗浄、整容、寝衣交換】の意義と重要性、清潔援助に必要な基礎知識、援助方法、根拠、看護師の基本姿勢について学ぶ。				
第2回	講義 授業を通じての到達目標	人間にとって清潔の意義と清潔の援助方法と根拠について述べることができる。整容の目的・方法・影響について理解できる。			教科書 資料 パソコン プロジェクター スクリーン スピーカー	該当部分の教科書を読む 授業の復習をする
	各コマにおける授業予定	整容の方法・根拠・留意点について学ぶ。整容の援助を安全・安楽に実施する。				
第3回	講義 授業を通じての到達目標	人間にとって清潔の意義と清潔の援助方法と根拠について述べることができる。入浴・シャワー浴の目的・方法・影響について理解できる。			教科書 資料 パソコン プロジェクター スクリーン スピーカー	該当部分の教科書を読む 授業の復習をする。
	各コマにおける授業予定	入浴介助・シャワー浴の方法・根拠・留意点を学ぶ。				
第4回	講義 授業を通じての到達目標	人間にとって清潔の意義と清潔の援助方法と根拠について述べることができる。手浴・足浴の目的・方法・影響について理解できる。			教科書 資料 パソコン プロジェクター スクリーン スピーカー	該当部分の教科書を読む 授業の復習をする
	各コマにおける授業予定	臥床患者の部分浴（手浴、足浴）の方法・根拠・留意点を学ぶ。				
第5回	講義 授業を通じての到達目標	人間にとって清潔の意義と清潔の援助方法と根拠について述べることができる。陰部洗浄の目的・方法・影響について理解できる。			教科書 資料 パソコン プロジェクター スクリーン スピーカー	該当部分の教科書を読む 授業の復習をする
	各コマにおける授業予定	臥床患者の部分浴（陰部洗浄）の方法・根拠・留意点を学ぶ				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	人間にとって清潔の意義と清潔の援助方法と根拠について述べる ことができる。手浴・足浴を安全・安楽に実施することができる。	教科書 資料 パソコン プロジェクター スクリーン スピーカー	演習までに事前学習・演習目標・行動計画を提出する。演習後は振り返り記録を提出する。
		各コマにおける授業予定	臥床患者の手浴・足浴の援助を安全・安楽に実施する【準備・持参物品】白衣、ジャージ、バスタオル、ハンドタオル2枚、フェイスタオル1枚、手拭用ハンドタオル1枚		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	人間にとって清潔の意義と清潔の援助方法と根拠について述べる ことができる。陰部洗浄を安全・安楽に実施することができる。	教科書 資料 パソコン プロジェクター スクリーン スピーカー	演習までに事前学習・演習目標・行動計画を提出する。演習後は振り返り記録を提出する。
		各コマにおける授業予定	臥床患者の陰部洗浄の援助を安全・安楽に実施する【準備・持参物品】白衣、ジャージ、ハンドタオル		
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	人間にとって清潔の意義と清潔の援助方法と根拠について述べる ことができる。先発の目的・方法・影響について理解できる。	教科書 資料 パソコン プロジェクター スクリーン スピーカー	該当部分の教科書を読む 授業の復習をする
		各コマにおける授業予定	洗髪の方法・根拠・留意点を学ぶ。		
第9回	演習形式	授業を通じての到達目標	人間にとって清潔の意義と清潔の援助方法と根拠について述べる ことができる。洗髪の援助を安全・安楽に実施することができる。	教科書 資料 パソコン プロジェクター スクリーン スピーカー	演習までに事前学習・演習目標・行動計画を提出する。演習後は振り返り記録を提出する。
		各コマにおける授業予定	洗髪の援助を安全・安楽に実施する【準備・持参物品】ユニフォームの下にTシャツ着用、バスタオル1枚、ハンドタオル1枚、フェイスタオル2枚、シャンプー・リンス ヘアブラシ)		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	人間にとって清潔の意義と清潔の援助方法と根拠について述べる ことができる。洗髪の援助を安全・安楽に実施することができる。	教科書 資料 パソコン プロジェクター スクリーン スピーカー	演習までに事前学習・演習目標・行動計画を提出する。演習後は振り返り記録を提出する。
		各コマにおける授業予定	洗髪の援助を安全・安楽に実施する【準備・持参物品】ユニフォームの下にTシャツ着用、バスタオル1枚、ハンドタオル1枚、フェイスタオル2枚、シャンプー・リンス ヘアブラシ)		
第11回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	人間にとって清潔の意義と清潔の援助方法と根拠について述べる ことができる。寝衣交換の目的・方法・影響について理解できる。	教科書 資料 パソコン プロジェクター スクリーン スピーカー	該当部分の教科書を読む 授業の復習をする
		各コマにおける授業予定	衣生活の方法・根拠・留意点について学ぶ。臥床患者と上肢に障害のある患者の寝衣交換の援助を安全・安楽に実施する。		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	人間にとって清潔の意義と清潔の援助方法と根拠について述べる ことができる。寝衣交換を安全・安楽に実施できる。	教科書 資料 パソコン プロジェクター スクリーン スピーカー	演習までに事前学習・演習目標・行動計画を提出する。演習後は振り返り記録を提出する。
		各コマにおける授業予定	臥床患者と上肢に障害のある患者の寝衣交換の援助を安全・安楽に実施する。【準備・持参物品】白衣、ジャージ		
第13回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	人間にとって清潔の意義と清潔の援助方法と根拠について述べる ことができる。全身清拭の目的・方法・影響について理解できる。	教科書 資料 パソコン プロジェクター スクリーン スピーカー	該当部分の教科書を読む 授業の復習をする
		各コマにおける授業予定	臥床患者の全身清拭の方法、根拠・留意点を学ぶ。		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	人間にとって清潔の意義と清潔の援助方法と根拠について述べる ことができる。全身清拭を安全・安楽に実施することができる。	教科書 資料 パソコン プロジェクター スクリーン スピーカー	演習までに事前学習・演習目標・行動計画を提出する。演習後は振り返り記録を提出する。
		各コマにおける授業予定	臥床患者の全身清拭を安全・安楽に実施する【準備・持参物品】白衣の下に半ズボン着用、バスタオル1枚、ハンドタオル2枚)、フェイスタオル1枚、手拭用ハンドタオル1枚		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	人間にとって清潔の意義と清潔の援助方法と根拠について述べる ことができる。全身清拭を安全・安楽に実施することができる。	教科書 資料 パソコン プロジェクター スクリーン スピーカー	演習までに事前学習・演習目標・行動計画を提出する。演習後は振り返り記録を提出する。
		各コマにおける授業予定	臥床患者の全身清拭を安全・安楽に実施する【準備・持参物品】白衣の下に半ズボン着用、バスタオル1枚、ハンドタオル2枚)、フェイスタオル1枚、手拭用ハンドタオル1枚		